

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 誓 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'24 12

名古屋園芸

花の講座  
受講生募集中!!



正月事始め



仮名手本忠臣蔵 四段目 花籠の段

葛飾北斎(初代)画  
文化年間頃 1804-1814

四段目で桜、山吹をいけようとする顔世御前 庭に山吹や沢瀉などが見える

## 手軽に始める グリーンライフ

【お手頃プランツコレクション】始めました!

これから年末にかけて忙しい毎日…。お手軽にちょっとした癒しをプラスしてみませんか? 2F観葉植物フロアにて、観葉植物の【お手頃プランツコレクション】を始めました!

育てやすく人気のグリーンたちをおしゃれなデザインの鉢に植え替えてご用意しました。「これから寒くなるこの時期の植え替え作業はちょっと心配…」という方にも安心してそのまま飾っていただけます。お好みの植物をお求めいただいたら、すぐにお部屋やオフィスに置けますので、気軽に観葉植物を楽しむことができます。

【1000円】・【2000円】・【3000円】の3つの価格帯からサイズや種類でいろいろ選べますので、きっとお気に入りのひと鉢が見つかりますよ。インテリアに合わせて選んでみてくださいね。

また、観葉植物には空気浄化効果やリラックス効果もあるので、毎日の生活に癒しと潤いをもたらしてくれます。さらに、プレゼントにも喜ばれること間違いなし! 大切な人への贈り物やちょっとしたお手土産にも最適です。

ぜひ、この機会に【お手頃プランツコレクション】で手軽にグリーンライフを始めてみませんか? お手頃価格の観葉植物をチェックして、日々の生活に彩りをプラスしましょう! 2F観葉植物フロアへのお越しをお待ちしております!



④ 【お手頃プランツコレクション】【2000円】  
ビレア ディプレッサ  
そのまま飾りやすい陶器鉢植えです。コンパクトサイズだからどこにでも飾りやすくオススメです。



③ 【お手頃プランツコレクション】【1000円】  
アグラオネマ ゴールドパウダー(黒)  
ペペロミア ホープ(橙) ヒメモンステラ(青)  
初めての観葉植物にピッタリ! カラフルな鉢から自分好みの一鉢を見つけてください。



⑤ 【お手頃プランツコレクション】【3000円】  
ペペロミア フェアリー  
ボリューム満点の人気観葉植物。植え替えてあるから手軽にそのまま飾れます。

### information

#### 縁起植物コレクション 12/7(土)~1/5(日)

日本のお正月には欠かせない縁起物の植物、「万両・千両・百両・十両展」が今年も始まります。

百両(カラタチバナ)を中心に貴重な品種が揃うのは1年にこの機会だけ、展示並びに即売会も行います。赤は災を表す色で、昔から「厄除けの力」があると言われ、縁起物として扱われてきました。赤い実の力にあやかっ、家内安全と繁栄、心穏やかな一年を願いながらお正月を過ごしてみたいかでしょうか?

お正月の花支度の際には、ぜひ名古屋園芸にお立ち寄りくださいませ。



第10回(1995年12月)でも紹介しました「剪花翁伝前編」を今回は「冬牡丹」の項で紹介いたします。ボタンは通常は春に咲く花ですが、厳冬期に咲くボタンがあります。これには寒ボタンと冬ボタンという2種類があります。寒ボタンは春と初夏の2回咲く性質をもったものです。一方、冬ボタンは一季咲きの春に咲くボタンに秋に冷蔵処理を施し、その後加温することで12月ごろに花を咲かせるボタンです。冬に牡丹園に行きますとわざわざ寒さよけをした姿がかわいらしく風情を感じます。冬に咲いているボタンで、葉がない状態で咲いているのが寒ボタンで、葉が茂った状態で咲いているのが冬ボタンです。

『剪花翁伝前編』では「冬牡丹」の項目では、今日という寒ボタンの解説をしています。一季咲きと

※お知らせ  
令和7年1月21日(火)に東京、東京都美術館と上野東照宮で、園芸文化協会主催の「冬を彩る縁起花・牡丹を知る、観る、育てる」を開催します。小笠原誓の講演と上野東照宮で冬牡丹の観賞会を行います。詳しくは名古屋園芸ホームページと1月号の「花かがみ」をご覧ください。



## 花の博物館 第347回

### 剪花翁伝 前編

せんかおうでん  
嘉永四年(一八五二)紀州、水竹亭中山雄平著、水竹亭蔵版  
五巻五冊  
本書は前編とあり後編が予定されていたであろうが、未刊に終る  
小笠原 誓

(現代語一部要約)  
立秋の頃に葉を残さず刈り捨てる。早いものは8月(旧暦、以下同じ)から咲き始め、毎月咲き続け、寒中にも咲く。9月末ごろになって霜が降りるときになると、花は半開きで開ききらず、しぼんでしまう。そこで、風が吹き始めるころから、花壇の三方と木の上をわらやこもなどで覆って囲い、南面に油障子を入れて暖かくすると寒中にも花が盛んに咲く。ゆえに寒牡丹というが、じつは二季咲きがだんだん選れて咲いたものである。日月から寒中に花を咲かせるものはいたって少なく、これを賞賛すべきである。

(現在でも寒牡丹は8月下旬に葉を切って育てています。寒ボタンは葉を8月下旬に刈ると12月1月ごろに花を咲かせます。)